

北海道と上海の番組交流事業

コンテンツ交流に続いて人材交流も実施スタート 新しいコンテンツやビジネスのアイデア見つけたい

北海道テレビ放送（HTB）はこのほど、中国・上海市に本部を置く中国第2位の上海メディアグループ(SMG)と、新たに人材交流を始めることになりました。人材交流では、今年 SMG が立ち上げたクロスメディアセンター傘下の「新聞総合チャンネル」へ12月から HTB の若手社員を研修派遣するとともに、来年は SMG 社員を HTB が受け入れる予定になっています。

10月17日に HTB 本社で行われた記者会見で樋泉実社長は、「今回の人材交流では若い世代の現場制作者同士が交流することで、お互いの価値観が違っていることを学び、議論することを通して新しい価値が生まれることを期待している。HTB はアジアの中の北海道という視点を大切にしているが、そこから新しいコンテンツのアイデアやビジネスのヒントを見出したい」と話しました。これに対して、SMG クロスメディアセンターの王立俊 (WANG LIJUN) 副総裁は、「クロスメディアセンターは、SMG グループのプラットフォームを統合した24時間放送のニュースチャンネルだ。この中にある ICS 上海外国語チャンネルは、CCTV の英語チャンネルに次ぐ、外国語の総合放送チャンネルも含まれている。HTB、北海道の皆さんと共に美しい中日の未来を作っていきたい」と答えました。

日中国交正常化45周年を来年に控え、HTB ではこれまで行ってきた番組の共同制作やコンテンツの交流などで築いた関係をさらに発展させ、人材交流を通じて、北海道と中国の文化の相互理解を深めるとともに、交流人口の増加と観光の振興を目指しています。

【SMG 上海メディアグループ】

2001年に上海電視台、東方電視台、有線電視台などがグループ化された中国では北京の CCTV (中国中央電視台) に次ぐ中国第2位の規模を持つメディア集団。テレビチャンネルのカバー人口は、上海市だけで1600万人、放送エリアでは1.2億人。インターネット放送 (ICS 上海外国語チャンネル) を通じて世界にも発信していて、2013年6月から HTB 制作の「LOVE HOKKAIDO」が日本のテレビ局が制作した初のレギュラー番組として、現在も放送されています。